

# 企業を誘致 海外へ展開



▲南部科学工業園区台南園区

## 世界に向けて 南科を足場に、世 界を睨む

南アフリカ共和国 ヨハネスブルグで「2008世界科学園区協会年会」に出席

2008世界科学園区協会(International Association of Science Parks; IASP)年会は2008年9月13日に南アフリカ ヨハネスブルグで開かれた。南科管理局の陳俊偉局長等、一行8人が台湾を代表して参加しました。

「知識経済の成長が加速する中

での科学園区の役割—発展途上国と先進国との比較」をテーマとした今年のIASP年会では、ワークショップに参加する外、財団法人金属工業研究発展センターの代表と成功大学の孔憲法教授が、それぞれ「医療器材産業クラスター形成過程における地場産業の研究開発力の役割—台湾の中小企業を例として」、「ハイテク産業クラスターの形成過程における科学園区の役割—南部科学工業園区を例として」及び「南部科学工業園区におけるTFT-LCD産業クラスター規画経験の交流」等の題目で講演をしました。南科の発展経験を共有することにより、会議に参加した方に南科の深い印象を与えました。



▲局長陳俊偉(左3)と南アフリカ事務所副處長劉邦全(左4)等南アフリカ事務所前で撮影



### 南科の宣伝活動—2008年投資募集活動で日本へ

2008年10月2日から11日まで、南科管理局呉盟分副局長の一行は、投資企業誘致のために日本の大阪と東京を訪問、また、韓国の大田と済州も訪れ、国際交流を図りました。金属工業研究開発センターのスタッフも同行した今回の訪問では、南科の良好な投資環境を投資の可能性のある外国側企業に知ってもらう以外に、関連技術やサプライチェーン立ち上げに関する相談を行うことも目的としていましたが、南科による全面的かつ



▲副局長呉盟分(前列右1)日本にて投資者募集訪問時Tokki社を訪問

充実した情報提供は相手側企業にも高く評価され、今後、実際に南科を訪問して投資の可能性を探りたいとの高い関心も得ることができました。

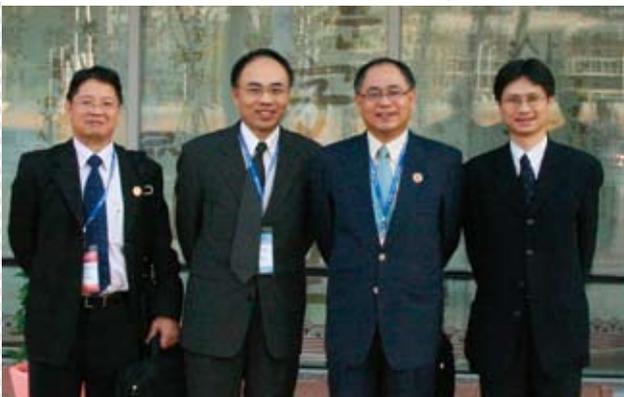
台湾は既に平面ディスプレイ産業の国内化を国家レベルの産業政策として重点的に推進しており、特に、その設備産業については国産化率を2009年までに60%に引き上げることを目標としています。そのためには、日系企業との技術提携か、台湾への工場誘致が実行戦略として不可欠になります。今後、南科管理局は園区のパネル、設備企業力を結び付け、より充実したサービスで、日系光電子企業による南科への投資や入居企業との戦略提携を後押しし、地元の繁栄と台湾の科学技術産業界の競争力向上に貢献していきます。

### 韓国大田市にて2008世界科学都市協会年会とシンポジウムに参加

世界科学都市協会(World

Technopolis Association, WTA)は、科学園区、科学技術都市、大学、研究機構など多様な会員を結び付ける国際組織として1997年6月に韓国大田市に設立されたユネスコ公認の非営利組織の一つで、地域の発展を促進するとともに、世界の科学都市の交流や協力によって共に科学技術の進歩を達成することを主な目標にしています。現在、WTAはIASP国際機構とも交流、協力を行っています。

南科管理局はこの分野に関する世界的な動きと、科学園区の発展状況を多方面から確実に把握するために、2008年に正式にWTAの会員になり、2008年10月8日から11日まで開催された年会に参加しました。今回の年会のテーマは「Towards Creative City: Retrospect and Prospect in Science City Development」で、本局企画室の陳百宏主任は「Cluster Development for Innovation: IT Cluster」セッションの講演者として招待された。



▲副局長呉盟分(右2)が投資組、企画室のメンバーとWTA会場前で写真撮影



▲企画室主任の陳百宏(左2)とUNESCO代表(左3)が2008WTA大会開幕式で来賓として写真撮影

# 企業を誘致 海外へ展開



▲副局長吳盟分(左3)代表として、韓国濟州科学園区とMOUを結んだ

## 韓国濟州科学園区と提携の覚 え書を締結

韓国は台湾とともに集積回路、光電子、情報通信産業等のハイテク産業では世界的にも重要な地位を占め、両国は経済貿易面でも親密で友好的な関係を維持しています。2007年韓国・台湾間の貿易取引総額は22,376.3億円ドルに達し、韓国は台湾の第5の貿易相手国であるとともに、輸入相手国としても第4位を占めています。このような深い関係の下に、2008年10月10日、濟州科学園区と南科は提携の覚え書を交わし、台韓関係をさらに強化しました。

## 北京で2008世界科学園区協会 アジア支部、アジア科学園区 協會の共同年会に参加

南科管理局の陳俊偉局長と中科管理局の楊文科局長の一行6名は2008年10月22日から24日まで北京で行われた2008世界科学園

区協會(IASP)アジア支部及びアジア科学園区協會(Asian Science Park Association; ASPA)共同年会に参加しました。

年会は「出会い、共有、革新、発展」をテーマとし、北京清華科学園区で行われました。今回の会議では、成功大学の孔憲法教授が長年取り組んでいる南科発展に関する研究成果に基づき、「南部科学工業園区の適応、革新型開発計画」と題して、会議の参加者と南科発展の経験を共有しました。

今回の年会ではもう一つ喜ぶべき出来事がありました。それは、南科の新世紀光電(LED)が中國HiChina(ネットサービス)、韓国Dentis(歯科用充填物)及び日本OPM Laboratory(プロセスサービス)等との激しい競争の中で、2008 ASPA Awards 最優秀企業トップ賞を獲得したことで、年会の晩餐会で表彰式が行われました。



▲南科局長陳俊偉(左4)、中科局長楊文科(左5)とアジア科学園区協會会長李鍾玄(右4)等と撮影